水産研究・教育機構 機関リポジトリ
FRA Japan Fisheries Research and Education Agency Institutional Repository

人工養成クルマエビを用いた生検法による採卵用親エビの成熟度判別と効率的な採卵方法

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮島, 義和, 松本, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014463

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.

人工養成クルマエビを用いた生検法による採卵用親エビの成熟度判別と効率的な採卵方法

宮島義和・松本　淳

人工養成1歳クルマエビで目視選別した成熟雌の卵巣卵の成熟度を生検法により第3卵黄球期，前成熟期，および成熟期の3つのステージに区分し，自然産卵率を測定した結果それぞれ7.1%，100%，および75%であった。また，第3卵黄球期の個体に眼柄処理をした結果産卵率40%となった。親エビの有効利用という見地から，生検法により自然産卵可能な雌とそうでない雌とに選別し，前者は自然産卵により採卵し，後者は眼柄処理して採卵するように仕分けて産卵率を向上させるという効率的な採卵方法の利用が考えられる。

栽培技研，**25**(1)，37–40，1996